

第13回日本在宅看護学会学術集会

在宅看護、すぐそばに在る

訪問看護の制度化から30年、全国に15000を超える訪問看護ステーションが開設され、その活動も地域の中で多様化、多機能化し定着してきました。また、地域包括ケアシステムの下、訪問看護以外の様々な場で働く看護職が幅広い年齢層、多様な状況にある在宅療養者の支援を行う時代になりました。

このような在宅看護が、現在、質、量とともに十分にゆきとどき、必要とする人たちのすぐそばに在る状態なのか、そして少子高齢化が続く中で10、20年先もすぐそばに在り続けられるのか。今、必要と思われることを幅広く取り上げてゆきます。

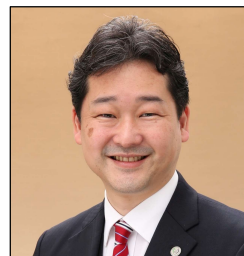
2023年11月18・19日(土・日)

会場： クロス・ウェーブ船橋
(千葉県船橋市)

※ハイブリッド開催なので、遠隔からも参加できます

学術集会長： 清水 準一

東京医療保健大学 千葉看護学部
教授 (老年・在宅看護学)



| 参加費 | 前期登録 | 後期登録 |
|-------------|----------|-----------|
| 登録期間 | 5/3~8/31 | 9/1~12/17 |
| 会員 | 8,000円 | 10,000円 |
| 非会員 | 10,000円 | 12,000円 |
| 大学院生/プレス | 3,000円 | 3,000円 |
| 学生 (基礎教育課程) | 1,000円 | 1,000円 |



詳細は学術集会ウェブサイトでご確認ください
<https://13th.janhc.jp/>

